



1. 【訃報】 理事長 齋藤直美氏 逝去

当会理事長の齋藤直美氏が、11月28日にご逝去されました。享年84歳でした。

故・齋藤理事長は1979年に豊田ロータリークラブに入会。2016-18年度国際ロータリー理事、2010-13年度国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長、2006-07年度第2760地区(愛知県)ガバナーなど、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては2018年9月から第七代理事長をお務めいただき、今年で2期2年目でした。理事長就任後は各国の学友会を精力的に訪問したほか、新型コロナウイルスの流行に伴い、奨学生の生活や健康を真っ先に憂慮し、奨学会と

して迅速な対応と情報開示を指示するなど、本奨学事業のために心を尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

学友会から続々と寄せられた追悼メッセージは当会でとりまとめ、斎藤病院を通じてご遺族へ届けてもらいました。

なお、後任理事長については、役員候補者指名委員会にて指名を受けた理事長候補者を理事会に諮り、決定されます。



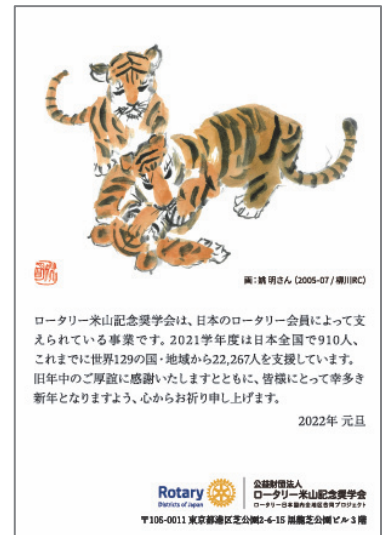
2. 2022年の年賀状を学友がデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年約4,700枚の年賀状を送っています。来年の年賀状は、水墨画家として活躍する米山学友、姚明さん(2005-07/柳川RC)によるデザインです。姚さんはこの作品について「子虎たちが戯れる様を描きました。日本では世界の中でも特に少子化が進んでいるので、新年には虎の家族のように子宝に恵まれ、日本の社会がより活気に満ちたものになるよう、祈りを込めました」と語ります。



姚明(ヤオミン):1967年、中国内モンゴル生まれ。1993年に来日、福岡教育大学大学院美術教育学研究科にて修士号取得、九州産業大学大学院芸術研究科博士後期課程修了。

現在、NPO法人日中国際交流センター理事長、九州産業大学芸術学部非常勤講師、臨沂大学(中国・山東省)客員教授。日本や中国など世界各国の美術館・画廊などで個展28回。日本外務大臣賞、文部科学省文部大臣賞、中国駐日本大使館賞受賞。



3. 寄付金速報 — 送金はお早めに —

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.9%減)、約2,100万円の減少となりました。未だ前年同期よりも減少のまま推移していますが、先月までの寄付累計額から比較すると1千万円ほど減少幅が縮まり、少しずつではあり

ますが、寄付状況も好転しているように感じられます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 韓国米山学友会が2年目のZoom総会

11月20日、韓国米山学友会の総会が今年もオンラインで開催されました。韓国国内の学友だけでなく、日本、台湾、ネパール、タイから、また、当会からも水野副理事長、山崎副理事長、駒井常務理事、そして私、柚木が参加し、総勢74人となりました。



総会では、活躍した学友への感謝状授与、活動・会計報告、韓国米山学友会が支援する日本人奨学生と卒業生10人の近況報告、2023年に開催される「再会 in 関東」の告知が行われましたが、全体を通して日本人奨学生が同時通訳を行い、日本語で配信を聞くことができました。韓国米山学友会は今年10月に台湾米山学友会と友好関係を締結しており、署名入りの覚書と締結書も披露されました。

総会終了後、約1時間にわたり有志参加者で意見交換が行われました。コロナ禍にもかかわらず、学友会の活発な活動の様子が画面の向こうから伝わってきましたし、IT技術を駆使したスムーズな進行に感服しきりでした。

(事務局長 柚木裕子)

5. 第2820地区による世界的プロジェクト

第2820地区(茨城県)をホストとするRotary TEAM JAPANの呼び掛けにより、9月12日、世界のロータリアンがそれぞれの国や地域で、市民の方々とともに海岸や河川の清掃を一斉に行う一大イベント、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」が行われました。



しかしこの時、緊急事態宣言下にあった第2820地区では、12日当日は環境保全をテーマとするオンラインパネルディスカッションを行いました。パネリストには、米山学友5人が登場し、モンゴル・ベトナム・中国・韓国・ケニア、それぞれの国での環境問題と保全に向けた取り組みについて発表しました。

そして、本来であれば9月12日に行われる予定であった海岸清掃は、再延期の末、11月3日に開催。当日は地区内全58クラブのロータリアンとともに、米山奨学生・学友が大勢参加しました。海岸清掃に使われた軍手2,000双は、茨城ロータリーEクラブ会員となった徐佳鋭さんが奉仕として提供したものだということです。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(木) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(火)~1月5日(水)の間休業させていただきます。来年は1月6日(木)より通常業務となります。

